

EU 編

- ① 電池規則案 — 製品系 **全 6 ページ** サンプルのためリンクが切れている。

法律/政策の名称	電池規則案 (COM/2020/798 final)
現地語名称	Proposal for a REGULATION OF THE EUROPEAN PARLIAMENT AND OF THE COUNCIL concerning batteries and waste batteries, repealing Directive 2006/66/EC and amending Regulation (EU) No 2019/1020
公布/施行日等	2020 年 12 月公表
カバー期間	2021 年 6 月初めから 2021 年 11 月終わり

バックグラウンド情報

■ 電池指令の概要

EU において電池および蓄電池に関する全般的な規制を敷いているのが、この電池指令となる。水銀やカドミウムを含む電池および蓄電池の上市禁止、回収スキームや回収目標などを規定している。

<対象とする電池の区分>

区分	携帯型電池
	産業用電池 (電気自動車用電池含む)
	自動車用電池

■ 電池指令から電池規則案へ

電池規則案が公表された背景として着目すべきは 2019 年 4 月の電池指令の実施評価に関する最終報告書、2019 年 12 月の欧州グリーンディールの公表とそれに続く 2020 年 1 月の作業計画、3 月の新循環型経済行動計画、そして直接の規制化プロセスに入る 2020 年 5 月の開始影響評価書の公表と意見募集である。サンプルのため途中省略

現在、規則案が公表されてから 1 年が経過しようとしており、サンプルのため途中省略他方、EU 理事会でも規則案に関する審査が行われている。

最近の主な動向

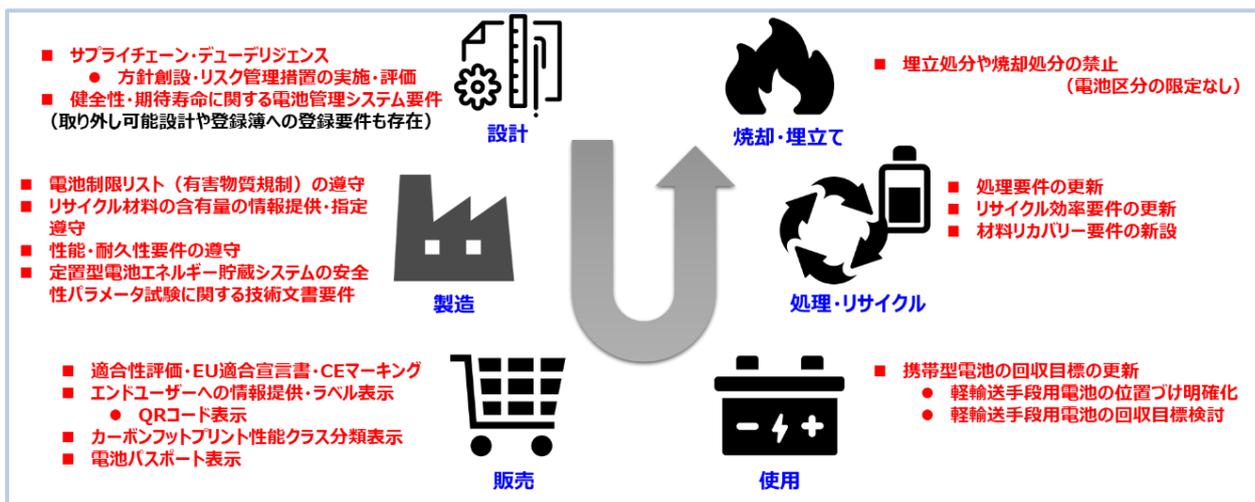
- 欧州委員会が 2020 年 12 月 10 日に公表した文書 COM/2020/798 final は、以下の内容を含んでいる。サンプルのため途中省略

この規則案本文と附属書部分を合わせると、現行の電池指令の 5 倍以上の分量となっている。

区分	携帯型電池
	産業用電池
	電気自動車用電池
	自動車用電池

<対象となる電池の区分>

■ <電池規則案の要件概要>



■ 指令から規則へ

電池指令は**サンプルのため途中省略** EU 法令策定から各種要件の適用開始までのタイムラインが指令のそれよりも短くなる可能性がある。

■ 規則案に対するコメント

2020 年 12 月 10 日から 2021 年 3 月 1 日までの間、135 件の意見書・ポジションペーパー・コメントが寄せられた。**サンプルのため途中省略**

■ 欧州議会委員会の改正案

現在、欧州議会では委員会が改正案を作成しており、**改正案** (の主な内容は以下の通りである)。

条文 附属書	項目	規則案	委員会案
13	ラベル表示		
39	...経済事業者の義務		
65	電池パスポート	サンプルのため省略	
附属書XII パ	2026 年 1 月 1 日までに		

ート C	達成すべき材料回収基準		
------	-------------	--	--

今後の展開とスケジュール

規則案が公表されてから 1 年が経過しようとしているが、成立は、**サンプルのため途中省略**と予想される。継続したウォッチが必要である。

EnviX 展望と見解

電池規則案では、電池パスポート、QR コードなどデジタル技術の積極的な採用が予想され、パスポートについては、今後さらにその他の製品へと拡大しようとする計画もあり **サンプルのため途中省略** 遵守対応までに十分な期間が見込めない場合も想定されることから、事前の準備および迅速な対応が重要となっている。

要件	欧州委員会 委任法採択期限	遵守期限
・ カーボンフットプリント宣言を含む技術文書に関する要件（施設毎、モデル・バッチ毎） 省略	サンプルのため省略	
省略 カーボンフットプリント性能クラスを示す 省略		
サンプルのため途中省略 いることを技術文書で示す（施設毎、モデル・バッチ毎）		

その他関連動向

詳細は **サンプルのため省略**

- ドイツ環境省、デジタル製品パスポートの開発・導入の推進を宣言
- EU の Batteries Europe が電池の原料調達・リサイクルに関する R&D ロードマップを公開
- 欧州規格化機関が持続可能な電池に関する規格制定に着手

【2021.12.03 em】

